# 産業復興、再生を

## 主催　福島産業人クラブ・

12年7月に閣議決定された福島復興再生基本方針の柱の一つとして「福島の医療関連産業の集積・振興を図り、拠点形成を目指す」が重点施策として明記されています。福島県では、これまでも関連産業の育成・集積促進による医療機器関連産業の製造・開発拠点の形成を目指してきました。今後はさらに加速させ再生可能エネルギー産業とともに震災復興の牽引役にする方針と聞いています。郡山市に整備が決まった「福島県医療機器開発・安全性評価センター（仮称）」など研究開発面での支援も含め今後の取り組みを聞かせて下さい。

**伊東部長**　医療機器関連

## 医療機器関連産業の現状と集積促進に向けた施策について

笠原工業　社長
**笠原　賢二 氏**

### センター整備で誘致加速

伊東部長

分野の振興について、これまでも県は力を入れてまいりました。現在、本県の医療機器の生産額（2011年）は976億円で全国5位。受託生産額では全国トップになります。すでに下地があり、復興を進める重点プロジェクトによりさらに打ち出していく方針です。また医療機器開発支援では、約151億円の基金を造成しておりカプセル内視鏡や手術支援ロボットなど26件の製品開発・実証試験へ支援しており、13年度は新たに約20件を採択する考えです。

今回の福島県医療機器開発・安全性評価センターは、13年度は設計をし、運営を担う財団を立ち上げたい。建物が完成するまでに営業や人材を集めていきたいと思っています。このセンターではヒトへの臨床試験の前段として豚など大きな動物実験を請け負い、安全性の評価を行う施設を整備。このような施設は国内にはまだないものです。安全性評価を行う中で、人材の育成にも取り組んでいきます。

センターの整備により関連企業の郡山周辺地域はじめ本県への集積を図っていきたい。場所の選定は大きなテーマでした。そこで交通の便も良い郡山市の県農業試験場跡地に建設することを決めました。営業活動をするには優位性があったと考えています。センターの整備を契機に、企業誘致を含め進出企業と地元企業との共同研究などが進めばと考えます。

## 中小企業の復興・振興に向けた施策について

藤橋歯車鉄工所　社長
**藤橋　進一郎 氏**

### 円滑化法終了、制度融資も用意

伊東部長

東日本大震災から2年。福島県の中小企業を取り巻く経営環境はいまだに厳しい状況が続いています。震災や津波被害により再開のめどが立たない企業や、原発事故によって事業継続が困難な状況に陥っている企業は少なくありません。3月末に中小企業金融円滑化法が終了となり、当面の資金繰りや経営の先行きに不安を持つ経営者も多いかと思います。こうした状況下で、県が取り組む中小企業の早期復旧・復興、地域経済の再生に向けた支援策についてはいかがでしょうか。

**伊東部長**　中小企業の復興、経済の再生は大きな課題と捉えています。これまでの支援では復旧の部分が多く、国の施策ではグループ補助金や県単独の復旧の補助金などに取り組んできました。グループ補助金ではこれまで約188グループ・約2500（2月22日現在）事業所を対象とさせていただきました。県単の補助金でも11年度が約1600件、12年度も1000件以上の交付先を決定しています。13年度はグループ補助金については津波の浸水区域といわゆる警戒区域等に限定しております。県単については県全域を対象として、予算にも盛り込みました。立地補助金につきましては、13年度、県全域を対象に取り組む予定です。今回は県が認定する形でなく、国が直接取り組みます。県としてもより前に進む点を示していきたいと思っています。

制度融資につきましては、11年度に2400億円以上の融資実績があり、かなりのニーズがありました。12年度は制度変更もあったためか、200億円に届くかどうかというところです。ただ13年度は中小企業金融円滑化法の終了もあり、新たな資金調達を心配する声もあり、県としての制度融資も用意しています。トータルとしてはリーマン・ショック後の対応と同様な規模を確保しました。今後もできるかぎりの対応を進めていきます。また、立地補助金の効果は13年度に現れてくるのかと思っています。雇用が一つの要件としてありますので、採択先の正規雇用を期待しています。

## 次世代担う人材育成と雇用創出に向けた施策について

常磐開発　元社長
**菅　榮藏 氏**

### 魅力ある企業立地目指す

伊東部長

12年12月に総務省が発表した労働力調査によると、「製造業」の就労者数が前年同月より35万人減少し、998万人になり1961年6月以来、51年振りに1000万人を割り込んだとしています。モノづくりは国力の源でもあり、次世代を担う人材の育成は喫緊の課題です。本県におきましても、原発事故の影響による避難が相次ぎ、県外への人口の流出に歯止めがかからない状況でもあります。被災地の早期復興には、地域経済の再生が不可欠で、それを支える人材の育成は大きな課題です。人材育成への具体的な施策についてお聞かせ下さい。また、復興に向けた産業インフラの整備で、常磐道全線開通と雇用創出に向けた施策についてはいかがでしょうか。相双地域はJR常磐線が原ノ町駅以南で運行されていないなど、「陸の孤島」になってしまいました。復興をかけていくことが肝心でしょう。問題は人材の地域への定着と呼び込みのための雇用が大切とも思っています。福島県の一番の強みは「人」でしょう。コツコツとした取り組み方などモノづくりに励む姿勢が立地企業からも高く評価されています。2月に東京で開いた県の立地セミナーでは新卒者の離職率が全国で一番低いことも強調しました。震災はじめ原発事故による影響で県外に流出した人材をいかに本県に戻っていただくか。また進学などで本県を離れた人材にいかに戻っていただくか、ここを一段と考えていくしだいです。一つには魅力のある企業の立地などに力を入れていかねばと思います。

道路などが分断された相双地域はどうするか。大きな問題です。相馬市ではメガソーラー、南相馬市ではロボット産業協議会などの立ち上げもありました。廃炉技術に関しては、大手プラント企業とのジョイントが可能かどうかという点で、技術エントリーの募集説明会を福島と郡山で昨年実施しました。こうした動きもあります。環境回復とインフラの再生を県全体で取り組んでいく方向です。

**鈴木次長**　相双地域の企業にとって常磐自動車道の全面開通は大きな問題であることは強く認識しています。関連機関とも連携して、同地域への企業の帰還、進出の対応に取り組みます。

への取り組みを聞かせて下さい。

**伊東部長**　人材育成については再生可能エネルギー関連はじめ医療機器開発分野などさまざまな取り組みを進めています。高校などとも連携して技能者、技術者の養成に力を入れています。引き続き高校、高専、大学との連携に取り組んでいく考えです。こうした取り組みをいかに雇用につなげるか、という点が重要と感じています。人材に磨き

有限会社 福島熔材工業所
社長 渋谷修一
佐倉工場　〒960-2154 福島県福島市佐倉下字笊内16-7　TEL 024-593-5961　FAX 024-593-5962
本社　〒960-8162 福島県福島市南町251番地-1　TEL 024-546-2893　FAX 024-546-2895

地域のモノづくりを応援する―機械工具・環境機器の総合商社
有限会社 福島研磨材商会
代表取締役 渡辺三雄
本社　福島市三河南町10-12　TEL 024-534-5121
支店　郡山市安積2丁目182　TEL 024-945-4831
支店　相馬市沖ノ内1丁目12-7　TEL 0244-36-1782

驚異的な省エネを実現！
Supermizer-SMXシリーズ
当社はシステムでご提案いたします。
モーターの省エネルギーはおまかせ下さい。
【200V／400V系1.5kw～37kw・受注生産は45kw～110kw】
省エネから 省マネーへ
事業内容
精密板金　配電盤・制御盤製造
オリジナル省電力システム「SMXシリーズ」
TAKAHASHI ELECTRIC
高橋電機株式会社
代表取締役社長 高橋正実
〒969-1403 福島県二本松市渋川字十文字1-11
TEL. 0243-53-2221㈹　FAX. 0243-54-2422
●[関連会社] 株式会社 ティエスイー 〒242-0018 神奈川県大和市深見西1-4-42 TEL. 046-261-2255㈹

発泡プラスチック・建築・機械・光学フィルム・天然除菌剤
笠原工業株式会社㈹
代表取締役社長 笠原賢二
〒962-8502 福島県須賀川市上人坦1番地　TEL 0248-75-3131
ISO 9001 認証工場　ISO 14001 認証工場
時代を越えていく力　愛・感動・進歩　KASAHARA GROUP
http://www.s-kasahara.co.jp
ケー・エス・ケー㈱　宮城県仙台市宮城野区扇町4-9-13
花巻化成㈱　岩手県花巻市太田第64地割467番1号
ケー・デー・エル㈱　福島県須賀川市上人坦1番地
銚子化成㈱　千葉県銚子市小浜町2663番3
ナチュラルジャパン㈱　北海道網走市能取港町2丁目4番2号
KB FOAM INC.　9765 Marconi Dr,Suite201,SanDiegoC.A. U.S.A

亜鉛（三価クロメート、三価ユニクロ、三価黒クロメート）
無電解ニッケル（鉛フリー・クロムフリー）／ニッケルクロム、ハードクロム
株式会社 旭電化
代表取締役社長 宍戸隆司
〒960-8151 福島県福島市太平寺字堰の上9　TEL 024(546)2013
URL：http://www.asahidenka.com　FAX 024(545)2719

「モノづくり」サポーター　生産技術商社　http://www.eightiec.co.jp/
Eightiec
株式会社 エイティック
代表取締役 熊倉太郎
本社　〒960-8036 福島県福島市新町8-8 TEL 024-522-0191 FAX 024-524-0854
郡山営業所　〒963-0101 郡山市安積町日出山4丁目115 TEL 024-953-6141 FAX 024-953-6142
いわき営業所　〒970-1151 いわき市好間町下好間字渋井152-6 TEL 0246-88-7023 FAX 0246-88-7024

第4回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」受賞
ウィスカが永久に発生しない「ゼロウィスカS」
2006年優秀発明特許「中小企業庁長官奨励賞」受賞
完全クロムフリー防錆処理「ゼロクロムS」
ラックめっき・・・電機、OA、医療、環境、測定機、精密機器メーカ等約90社が現在量産中!!
バレルめっき・・・量産ライン新設、間もなくねじ類の量産開始!!
「ゼロクロムS」は現行有色クロメート、「ゼロクロムSB」は現行黒色クロメートに近い色調です。
「ゼロクロムS」、「ゼロウィスカS」に関する商談、見積り、試作等については何なりとお問い合わせ下さい。
銀ラインをスタートいたしました
表面処理技術：亜鉛めっき、ニッケルめっき、無電解ニッケル、錫めっき、銀めっき、アルミ化成処理
人と環境に優しいサスティナブルなめっきを常に追求する
HIGH QUALITY PLATING SAMBIX 株式会社 サンビックス
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字長沼13番地
TEL 024-933-5755　FAX 024-934-1164, 024-922-8175
URL:http://www.sambix.co.jp　E-mail:info@sambix.co.jp

排水を見直す！
加藤式 BAR-SCREEN
流水除塵機 新BSシリーズ
目開 (0.5),1.0,2.0,5.0,10～50mmまで
●一般産業排水処理の一次処理
●食品加工工場
●製紙・製糸工場
●ホテル、工場、病院等の厨房排水
●合併浄化槽（コミプラ）
●終末下水処理・中継ポンプ場
●その他
●目づまりゼロ
●メンテナンスフリー
●簡単、無騒音
●省エネ、オールステンレス
傾斜式ウェッジワイヤースクリーン　since 1945
KSBスクリーン
目開 0.15,0.3,0.5,0.7,1.0,1.5,2.0mmまで
画期的なスクリーン登場
洗浄ブラシが1本、2本、3本
環境対策に
独自の回転ブラシ構造の開発により、従来の傾斜式ウェッジワイヤースクリーンの概念を超越した画期的な高性能を実現しました。
●複数のブラシを使用
●ブラシ走行可変速と間欠運転
●高い効率性
●高い脱水効果
http://www.katex.jp
電機事業部 認証取得 ISO9001(2008)
KATEX KATO IRON CO.,LTD
認証取得 ISO14001(2004)
加藤鉄工株式会社
〒960-8201 福島市岡島字作田入1-2 福島工業団地
TEL024-534-2111㈹　FAX024-533-7155
E-mail ktx-2@katex.jp
電機事業部もよろしく！（旧㈱福陽電機製作所）
営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤
TEL 024-534-1528㈹ FAX 024-533-8590